

第 15 回国語分科会漢字小委員会・議事録

平成 27 年 4 月 17 日（金）
11 時 10 分 ～ 12 時 00 分
文部科学省 5 F 4 会議室

〔出席者〕

（委員）沖森主査，笹原副主査，秋山，入部，岩澤，押木，影山，川瀬，佐藤（栄），鈴木（一），鈴木（泰），関根，田中，棚橋，納屋，やすみ，山田各委員（計 17 名）

（文部科学省・文化庁）岸本国語課長，武田国語調査官，小沢専門職ほか関係官

〔配布資料〕

- 1 小委員会の設置について
- 2 文化審議会国語分科会漢字小委員会委員名簿
- 3 文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）
- 4 漢字小委員会における審議スケジュール（案）

〔参考資料〕

- 1 文化審議会国語分科会運営規則
- 2 文化審議会国語分科会の会議の公開について

〔机上配布資料〕

- 国語関係答申・建議集
- 国語関係告示・訓令集
- 国語分科会で今後取り組むべき課題について（報告）
- 学年別漢字配当表
- 常用漢字表の改定に伴う中学校学習指導要領の一部改正等及び小学校，中学校，高等学校等における漢字の指導について（通知）

〔経過概要〕

- 1 事務局から配布資料の確認が行われた。
- 2 参考資料 1 「文化審議会国語分科会運営規則」に基づき，委員の互選により，沖森委員が漢字小委員会主査に選出された。
- 3 参考資料 1 「文化審議会国語分科会運営規則」に基づき，沖森主査により，笹原委員が副主査に指名された。
- 4 事務局から配布資料 3 「文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）」の説明があり，漢字小委員会の会議を公開することが了承された。
- 5 事務局から配布資料 4 「漢字小委員会における審議スケジュール（案）」の説明があり，今期の審議事項や進め方等について確認された。
- 6 次回の漢字小委員会について，平成 27 年 6 月 26 日（金）午前 10 時から 12 時まで開催すること，また，会場については，決まり次第事務局から連絡することが確認された。
- 7 質疑応答及び意見交換における各委員の発言等は次のとおりである。

○沖森主査

御推薦いただきました，沖森でございます。何とぞよろしくお願ひいたします。一言，御挨拶申し上げます。

漢字小委員会は，昨年度より常用漢字表に関する手当てとして，「手書き文字の字形」と「印刷文字の字形」に関する指針の作成について検討を始めております。これは，先ほどの国語分科会において，国語課長の御説明にもあったとおりです。今期末までに，字体・字形に関する，より分かりやすい考え方を国としてまとめ，報告するということが第1の課題として求められております。

そこで，非力ではございますが，昨期に引き続き，この課題についてのまとめ役として主査を仰せつかったと認識しております。字体・字形に関する合理的かつ納得できる考え方が，広く社会に周知され，現在様々な場面で生じている問題について解決を図るきっかけになるように，委員の皆様と力を合わせて邁進^{まい}してまいりたいと存じます。何分，字体・字形という，かなり難しい課題ですので，様々な観点から御意見を頂けますよう，何とぞよろしくお願ひいたします。

○笹原副主査

早稲田大学の笹原でございます。先の第14期に引き続きまして，大役を仰せつかりましたので，この重責を果たすために微力を尽くしたく存じます。

漢字を研究しているとは申しますものの，沖森主査もおっしゃいましたように，字体・字形というのはなかなか難しい問題を含んでいるということ，昨期を通じて痛感しておりました。今期は取りまとめということがございますので，それに向けまして，副主査として精一杯努めてまいりたく存じます。お力添え賜りますよう，どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○沖森主査

それでは，配布資料3を御覧いただきたいと思ひます。「文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）」の説明を事務局にお願いいたします。これは，先ほどの総会で御了解いただいた「文化審議会国語分科会の会議の公開について」に倣ったもので，漢字小委員会の会議についても公開しようというものです。では，事務局から御説明をお願いいたします。

事務局（武田国語調査官）から配布資料3について説明

○沖森主査

ただ今の御説明について，質問等があればお願ひいたします。いかがでしょうか。

（→ 挙手なし。）

では，特に御異議がないようでございますので，「文化審議会国語分科会漢字小委員会の会議の公開について（案）」は，お認めいただいたということにさせていただきます。

これに従って，この後，会議を公開することになります。

（本日，傍聴者なし）

○沖森主査

では，続きまして，配布資料4「文化審議会国語分科会漢字小委員会における審議

スケジュール（案）」について、今後の審議事項などについても併せて御説明を事務局からお願いします。

事務局（武田国語調査官）から配布資料4に基づき今期の審議事項について説明

○沖森主査

進め方、そして今後のスケジュールについて、何か御質問、御意見等ございましたらお願いします。（→ 挙手なし。）

では、御確認いただいたということにさせていただきます。

先ほどの説明にもありましたように、今期も引き続き、常用漢字表に関する手当てのうちの「手書き文字の字形」と「印刷文字の字形」に関する指針の作成について」を中心に検討し、今期の終わりにはまとまった成果をお示ししたいと思っております。同時に、字体・字形の問題以外の事項についても、前期と同様に検討の機会を設けたいと思っております。

また、先ほどの説明にありましたような「主査打合せ会」を作りまして、事務局と共に作業を進めてまいりました。そして今期も、小委員会にお諮りするたたき台を作成するための「主査打合せ会」を設けたいと考えております。前期の「主査打合せ会」は、私と笹原副主査のほかに、秋山委員、関根委員、そして棚橋委員をお願いしておりました。今期はこの5名に加えて、押木委員と佐藤（栄）委員にも加わっていただき、7名の構成にしてはどうかと考えております。この「主査打合せ会」のメンバー等について、このような進め方でよろしいかどうか、御意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。（→ 挙手なし。）

では、そのように進めてまいりたいと思います。本日は時間も限られておりますので、具体的な協議は次回から始めることにいたします。次回までしばらく時間が空くこととなりますけれども、その間、「主査打ち合わせ会」と事務局で作業を進める予定であります。次回の会議までに、メール等で指針案の文案などをお送りし、御意見を頂くようなことがあるかもしれませんので、是非とも御協力いただきたいと思ます。

以上で議事については終了したいと思います。

では、文化庁の岸本国語課長から一言、御挨拶をお願いしたいと思います。

○岸本国語課長

本日は国語分科会に引き続きまして漢字小委員会と、長時間どうもありがとうございました。先ほども申し上げましたように、今期は漢字の字形の指針に関しまして取りまとめをしていただきたいと思いますと考えております。先ほどの国語分科会の方で鈴木（泰）委員からも御発言がございましたけれども、日本文化の根底には漢字というのが大事なものとしてずっとあると思ますし、これからも大事に守っていかなければならないと私個人としても思っております。そうした中で、外国人材の受入れ等、日本の社会が大きく変わっていき、それをどのように考えていくべきなのか、その一つの手掛かりになるようなものになればと考えております。少し忙しくなるかもしれませんが、委員の皆様にはどうぞ御協力いただきたいと思います。

それから、平成25年2月の報告で、幾つかその他の課題というのを挙げていただいております。そのことに関しても、今期少し議論を深めていただいて、今後の方向性を見いだしていければと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○沖森主査

進行が順調に進みました。これで今期第1回の漢字小委員会を終了いたします。御出席どうもありがとうございました。